

令和7年度 第1回穴水町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和7年5月20日（火）
開会 15時00分 閉会 15時37分
- 2 場 所 穴水町役場3階委員会室
- 3 出席者 穴水町長 吉村 光輝
穴水町教育長 大間 順子
穴水町教育委員会
教育委員（教育長職務代理者）大家 志夫
教育委員 小林 由紀子
教育委員 山崎 与志雄
教育委員 小豆 竹志

(事務局関係)
総務課長 北川 人嗣
教育委員会事務局長 松尾 美樹
総務課課長補佐 大澤 春樹
教育委員会事務局次長 龍池 公子
教育委員会事務局次長 島崎 俊崇

- 4 協議調整事項 (1)「穴水小学校施設建替基本計画」について

5 会議の経過及び発言

北川総務課長 ご案内いたしました時間となりましたので、ただ今から、令和7年度 第1回穴水町総合教育会議を開会させていただきます。本日、司会進行を務めさせていただきます、総務課長の北川と申します。よろしくお願いいたします。開会にあたりまして、吉村町長がご挨拶申し上げます。

吉 村 町 長 本日は大変お忙しい中、ご参集賜りましたことを、心から厚くお礼申し上げます。また教育委員の皆様には、日頃より本町教育の充実、発展、さらには子どもたちの健全育成のためにご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日の協議調整事項は、「穴水小学校施設建替基本計画」についてでございます。ご承知のとおり、令和6年能登半島地震を受け、穴水小学校の児童は現在、仮設校舎での学びを余儀なくされております。少しでも早く、子ども達が不便なく安心して学べる環境を整えることはもちろんのことですが、小学校の復旧が、穴水町の復興のシンボルとなる魅力的な学校となるよう、様々な角度からご意見をいただきたいと考えております。皆様には忌憚のないご意見、活発な議論をお願いいたします。本日はよろしくお願い申し上げます。

北川総務課長 ありがとうございます。本日の総合教育会議は、町長部局と教育委員会の合意形成を図る非常に大切な会議となります。皆様から忌憚のないご意見をいただき、議会へと繋げていきたいと思っております。それでは、教育委員会事務局から説明をお願いいたします。

島 崎 次 長 それでは、「穴水小学校施設建替基本計画」について資料に沿ってご説明いたします。

(説明)

北川総務課長 次に、質疑応答をいたします。ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

大 家 教 育 長
職 務 代 理 者 先ほど町長から、復興のシンボルとなるような穴水小学校の建設をとの言葉がありました
が、そのとおりであります。子どもにとっても地域や保護者にとっても、通わせてよかつ
たと誇れる学校になれば、と思っています。
建設地については、説明にもありましたが私も中学校敷地に建設されることに賛成です。

児童生徒数の減少により、今後ますます小中の連携が必要となります。そういったことを
考えましても校舎が近いことによって連携の強化が見込まれ、教育効果も高まるものと思
われます。

学校づくりは、地域づくりでもあります。地域を発展させるためにも、小中がしっかりと
連携した学びの場を整え、学校を中心としたコミュニティが形成されればと考えます。

是非、子どもが通いたい学校、親が通わせたい学校、先生方が勤めたいと思う学校、この
3つを目指した学校づくりを進めていただきたいと思います。

- 北川総務課長 ありがとうございます。他にご意見はありませんか。
- 山 崎 委 員 私は保護者として、教育委員を務めています。保護者としては、いつ小学校が建つのかという不安があります。少しでもスピーディに、良い学校を作っていただけたらと思います。
- 小 林 委 員 私も父兄の立場として、スムーズに学校建設が進めば、安心して子育てができると思っています。これまでは施設が老朽化していましたので、体育施設、特にプールを含めて新しく、快適に過ごせる校舎ができることを楽しみにしています。
- 小 豆 委 員 中学校敷地の選定理由の1つである「授業以外での交流」という面は非常に大切だと考えます。私は中学校のテニス部の外部指導員と、小学生のソフトテニス教室の指導者を担っていますが、地震以降はテニスをする環境が限られており、今現在は中学校のコートと一緒に練習をしています。合同練習は、交流、競技力の向上にも繋がっていきまして、お陰様で小学生の中には全国大会に出場できる選手も育っています。中学校敷地に小学校を併設し、さらに各体育施設が集約されることは、非常にいいことだと思っております。
- 北川総務課長 ありがとうございます。他にも遠慮なく、ご意見ございませんでしょうか。
- 大 家 教 育 長
職 務 代 理 者 保護者を含めて、地域の方が自由に入れる、コミュニティの中心になる学校づくり、大変いいな、と思っています。昔は敷居が高い、入りづらいという意見を聞いたこともありましたが、地域の方が一緒に交流できる、活動できる、子ども達を見ていただく、そういう学校は理想的であると感じます。
ただ、新しく作る学校は、災害に強い学校であってほしいと思います。穴水町は海に面していますから、できるだけ海から離れた、津波到達の被害が少ない場所にということを考えますと、現在の小学校の場所より中学校敷地は適しています。懸念しているのは土砂災害ですが、総合的に考えますと、中学校敷地の方が安全性に優れているように思います。
- 吉 村 町 長 小学校敷地と中学校敷地を選定するにあたって、先ほど大家委員からもご指摘がありましたが、将来的にスクールコミュニティを実践する上では、中学校敷地を選んだ方が、汎用性が高いのではないかと考えております。また、中学校校舎も40年程経つ建物でありますので、長寿命化、建て替えを検討していくことを見越して計画を立てなければなりません。新しい小学校の建設を、どういう風にするかは町民の方にご意見をお聞きし、行政や教育委員会の考えが及ばない点などを有識者にお聞きしたいとも思っています。その上で最終的に基本設計を進めて参ります。しかしながらその前に、予算の多い少ないに関わらず、適地とはどちらかをしっかり考えた上で、穴水中学校の敷地を執行部としてご提案し、進めたいと考えております。
- 大 間 教 育 長 今回の地震が、例えば今の時間、3時30分に起こったとしますと、小学生の低学年は帰宅しています。中学年は帰宅途中、高学年は学校にいます。そうしますと、教職員や教育委員会が子ども達を守ることは大変難しい状況です。例えば町の中の同じ場所に小学生と中学生と一緒にいますと親としても安心ですし、大人の動きも集約できます。小さいことですが、毎日の保護者の送り迎えにしましても小中学生が近くにいますと、一緒に連れて帰れます。わずかなことに感じますが、保護者の負担は大きく減ります。

小学校6年間、中学校3年間、しっかりと学んでもらい、今後も小中一貫校の予定はございませんが、中学生が近くでどのように学んでいるのかを小学生に見せていくこと、小中の連携は教育的に大変有効になる、勉強になることです。私としては、経費的に差はありますが、町民の皆さんにご理解いただいて、中学校敷地に小学校を建設し、教育効果を高めたいと考えております。穴水町の子ども達が、どこに行っても物怖じせずに自己表現できるよう育てたいと思います。

北川総務課長 ありがとうございました。ご意見をお聞きしたところ、本日説明をいたしました建替基本計画について、総合教育会議でご了承をいただいたということで、よろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

北川総務課長 ありがとうございます。そうしましたら、この基本計画につきましては、明日、議会の全員協議会でご説明し、6月議会に向けて、基本設計に向けた調査の予算を議会に提案し、新しい、夢のある学校づくりを町の執行部、教育委員会の合意形成の上で進めさせていただきたいと考えております。

本日の議題は全て終了いたしました。これをもちまして、令和7年度第1回総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

以 上